

か だい こう さく かわ つか こう さく
課題工作⑥ 革を使う工作

ペンケースを作ろう



令和7年 11月15日土

場所：淡路市立津名公民館 2階技術室
指導：丸林貴博（主幹）、他補助指導員

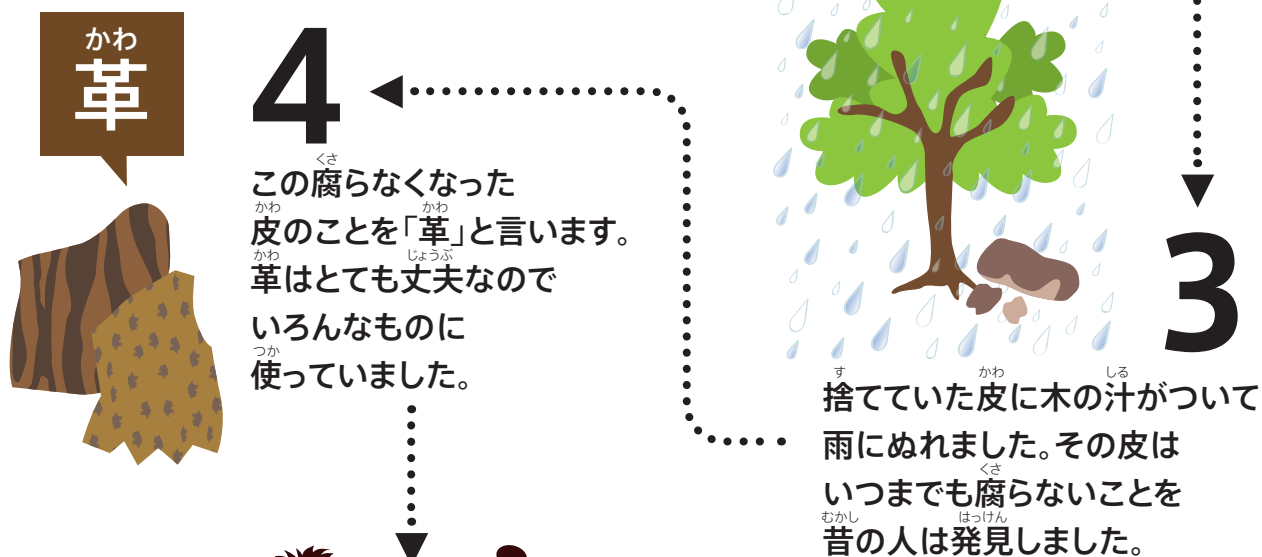


協賛企業

株式会社三和製作所、株式会社ツダ
ミツ精機株式会社、ミツテック株式会社
ムネ製薬株式会社、山本光学株式会社

主催：公益社団法人発明協会、淡路少年少女発明クラブ
後援：淡路市教育委員会、一般社団法人兵庫県発明協会

かわ 革ってなに？



かわ 革はどうやって 作るの？

かわ
皮



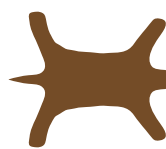
かわ
革



1

ふたん食べている牛や豚など
動物の皮をきれいにはぎとります。

2



腐らないように薬や水を使って皮を革へ加工します。
革に加工することを「なめし」と言い
加工する職人のことを「タンナー」と言います。

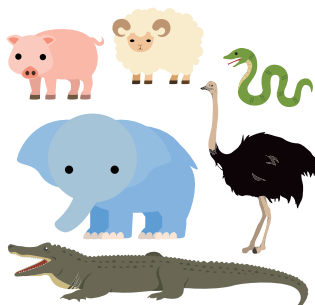
しり かわ
お尻側

かわ
革には
元の動物の形が
のこってるよ！

あたまかわ
頭側

革にはキズやしみが
ついていることも。
これは生きていた時に
ついたもので
生き物の証なんだよ。

足



どんな動物の
革があるの？

牛、豚、鹿、羊やゾウ、ヘビ、
ワニ、ダチョウなど様々な
動物から革が作られていま
す。動物によって革の色や
柄、雰囲気も変わります。



革でなにができるの？

革からランドセルやかばん、くつ、
服、財布など色々な物が作られて
います。革は合皮(革に似たよう
に作られた布素材)と違い、大事
に使用すれば色やツヤが変化し、深み
が出てきます。

ひょう ご あわ じ しま うし かわ 兵庫・淡路島の牛と革

牛



世界中で大人気！
ブランド牛のルーツは
淡路島にある

水も空気もおいしい自然豊かな淡路島は、昔から農水畜産業が盛んな地域です。食材が豊富に得られることから、古くは朝廷に様々な食材を納めてきた御食国でした。中でも畜産業を代表する淡路牛は、世界中で活躍しています。人気のブランド牛「神戸ビーフ」や「特産松坂牛」の約65%は淡路島で育てられたもの。淡路島は海外でも評価の高いおいしい牛肉を育てる、一大産地なのです。

革



兵庫県は革の生産日本一
技術と品質の良さは
海外でも高評価！

革の生産量が日本で一番多い地域は兵庫県。特に成牛革は全国生産量の約70%が兵庫県産です。兵庫の革の歴史は古く、弥生時代から革の生産が行われていたと言われています。皮革業が盛んな兵庫県の姫路市とたつの市には大小様々な皮革工場が集まり、伝統の技術を受け継いでいます。近年では、高い技術と品質の良さが広く認められ、海外でも高い評価を受けています。

ブランド牛の
多くは実は
淡路島育ち！

● 姫路市

日本の革の
約7割が兵庫県
で作られている！

神戸 ●

全国の成牛革
生産量

約**70%**が
兵庫県産

「神戸ビーフ」や
「特産松坂牛」の
約**65%**が
淡路島育ち

淡路島

革 牛



Awajishima
Leather

© Awajishima Leather

淡路島で育てた牛の皮を使い 兵庫県内で加工した 「淡路島レザー」

しまちやいろ
島茶色

あお かぜ
青 風

くろ こ
黒 衣

淡路島レザーの革の色名



淡路島の
農家さんが
育てた牛が
淡路島レザーに！

淡路島レザーは淡路島で育てた牛を兵庫県でなめした、淡路島特産の革です。私たちが牛肉を食べるには、当然牛を殺さなければいけません。大切な命。肉だけでなく、皮も無駄なく「生かし」、淡路島の風土を感じながらレザーアイテムを楽しんでもらうために、淡路島レザーは生まれました。一般的なレザーアイテムは、どこで生まれ育った牛の革を使っているのかわかりませんが、淡路島レザーには生産者がわかるように「トレーサビリティ(牛の個体識別番号)」がついています。淡路島で育てられ、兵庫県でなめされた淡路島レザーは、淡路島・兵庫県の人々の技術力と思い、歴史と風土が込められた唯一無二のレザーです。

●革製品のためだけに動物の命をいただくことはありません

革製品は、動物のお肉をいただくときに出る「皮」をむだにしないために作られています。

つまり、革製品のためだけに動物の命をいただくことはありません。

お肉を食べると皮はどうしても出つづけます。

その皮をすてずに活用して、革製品を作ったり使ったりすることは、動物の命を大切にすることにつながります。

●革製品を使うと脱炭素につながります

革製品を使うのをやめても、牛などの皮は出つづけます。

牛の皮は、日本だけでも1年間に約100万頭分出ています。※2021年

もし皮を活用しないで処分すると、ハンドバッグ769万個、くつ2500万足分の皮をすてたり、焼いたりすることになります。

そうすると、たくさんの二酸化炭素が出てしまいます。

皮を革製品として活用することは、脱炭素につながるエコなリサイクルです。

●動物からいただいた命は、お肉、革製品、化粧品などに のこさず活用されています

家畜として育てられた牛や豚は、お肉として私たちの食卓や、学校給食にも出されています。

そして、皮をふくむ体のいろいろな部分は、化粧品や医療の道具、油をつくる材料、コラーゲンやゼラチン、肥料など、ほとんどすべてが活用されています。

●革製品は長持ちするエコな素材です

モノは、作るときとすてるときに、地球に負担（ふたん）がかかります。

今は革よりも安く、見た目が良いものもたくさんありますが、革製品はとてもじょうぶで長持ちします。

使えば使うほど手になじんで、ていねいに手入れをすれば、一生つかうことだってできます。

長持ちしないモノを何度も買いかえるより、革を長く大切に使うほうが、地球にやさしいエコな選び方です。

●革製品をつくることは、森林破壊につながりません

革製品は、動物のお肉をいただくときに出る皮を活用して作られています。

そのため、革製品のためだけに動物を育てることはありません。

また、革製品を作るために森林を切り開いて動物を育てている、という事実也没有ありません。

なので、革製品を使うことが森林破壊につながる心配はありません。

【参考資料 (5ページ)】

一般社団法人 日本皮革産業連合会
パンフレット『シンキング レザーブック』

ペンケースの作り方

①あなを開ける

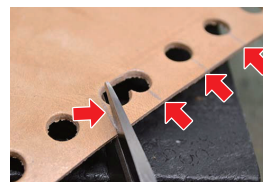


ゴムいたの上に、かわをのせて、●●マークにポンチをあわせ、ハンマーで上からたたいて、あなをあけます。

②かわを切る



ぎん色の先にそって、はさみで切る。



切りこみも切る。(8かしよ)

③金具で止める

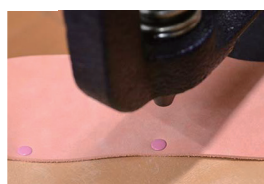
革は、かぶせ（はだ色）が上、本体が下になるようにしてとめる。



●のあなに、金具凸をさしこみます。



はんたいから、金具凹をさしこみます。



力を加えて金具を止めます

④かわを折り曲げる

革は、かぶせ（はだ色）が上、本体が下になるようにしてとめる。



あなの所をおり曲げる



きりこんだ所を、つまんで曲げる



本体のくぼんだ所で、しっかり曲げる

⑤かわを組み合わせる



下の穴から曲げながら入れます



おくまで、しっかり入れます



残りのあなも全部入れます

⑥金具を止める



かぶせを止める金具をプレスで止めます

⑦文字を入れる



文字を入れたい所にシートをかさね、木のぼうをあててハンマーでたたきます





ペンケースの型紙

